

はむらの学校教育 — 全ての子供のよさと可能性を引き出し、伸ばす —

1 学校教育目標

時代の変化に主体的に対応し未来を担う人間、自ら未来を切り拓く力を持ち、豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手となる児童の育成を最重要課題とし、「ふるさとを愛し、豊かな心とたくましく生きる力をもつ子供の育成」を目指す。
 ◎よく考えて学ぶ子 ○明るく丈夫な子 ○助け合って働く子

2 学校経営の基本理念

- (1) 子供たちが『夢の土台』をつくる栄小 …総合的な学習の時間、特別活動等を充実させ、児童の力を育成する
- (2) たゆまず あせらず おこたらず～目標、計画、努力～
 …「ESD（持続可能な開発の教育）for2030」:SDGsの実現に向けて の推進
- (3) どの子もみんな自分の子 共に育てよう栄っ子…みんなの「ウェルビーイング」を目指す。働き方改革の推進

3 学校教育目標に照らし合わせた目指す学校像、児童像、育てる力、基本方針（赤字は変更内容）

	◎よく考えて学ぶ子	○明るく丈夫な子	○助け合って働く子
学校像	子供一人一人がよさ可能性を発揮し、未来を切り拓くための力を身に付ける学校	保護者・地域から信頼され、笑顔・挨拶あふれる学校	何事も自分事として捉え、チーム力を生かし、主体的に課題を解決する学校
児童像	自分たちの学習や生活をよりよくしようという意識をもち、課題を把握し、解決のための方法を自分なりに工夫し、最後まで諦めず根気強くやり抜く子供	体力向上を目指すとともに、心身ともに健康でたくましく、爽やかな挨拶と元気な返事ができる子供	何事も自分事として捉え、一人一人の意見を尊重し、みんなと協力しながら奉仕する心をもって自らすすんで働く子供
力	課題解決力・自己調整力	体力・コミュニケーション力	協働性・協調性
基本方針	<p>○言葉の力を中核にした学校づくり。</p> <p>○はむらの授業指針に基づいた「分かる、楽しい、学ぶ喜びのある」授業づくり。</p> <p>○一人一台端末・ICT の効果的な活用→個別最適な学び、協働的な学びの充実と自立・より良い判断ができる学習者の育成</p> <p>○幼保小連携・小中一貫教育推進</p> <p>○特別支援教育の充実→子供の長所・強みに着目した指導</p>	<p>○道徳教育、体験活動等の充実</p> <p>→はむらの道徳科授業指針の活用、多様な人との交流、特色ある教育活動</p> <p>○一人一台端末を使った体育授業等の工夫、充実→運動習慣を身に付け、体力向上を目指す。</p> <p>○児童理解に基づく指導体制、生活指導、いじめ防止、不登校対策等→安心して楽しく通える学校。</p> <p>○家庭と協力・連携した習慣付け（学習・挨拶・生活規律等）→望ましい習慣を身に付けさせる。</p> <p>○幼保小連携・小中一貫教育推進</p>	<p>○自他を大切に<u>する児童の育成</u></p> <p>【自尊感情の醸成】</p> <p>自己効力感「やればできる」</p> <p>自己成長感「伸びている」</p> <p>自己有用感「役立っている」</p> <p>【人権教育】</p> <p>○6年間を見通した<u>キャリア教育</u>（人間学）の推進</p> <p>○<u>伝統・文化理解教育</u>（羽村学：郷土学習）の系統的な学習を推進</p> <p>○<u>コミュニティ・スクール</u>の推進（子供たちの成長を支える体制づくり）</p> <p>○幼保小連携・小中一貫教育推進</p>

4 目指す教師像…「率先垂範」の意識をもって取り組む。

	【挑戦】…変化を前向きに受け止め、目標に向かって挑戦する教職員	【信頼】…相手意識をもって深い信頼関係を築く教職員	【貢献】…連携・協働して、チームに貢献する教職員
取組	一人一台端末・ICT・AI の効果的な活用、授業力向上、自立した学習者の育成等を図る。	児童・保護者の心情に寄り添う指導をし、教育公務員としての服務規律を遵守、信頼される教育者。	学校内の職員間、コミュニティ・スクールや外部諸機関とも連携をとり、協働しながら指導の充実等を図る。

5 具体的な取組（●は重点項目、自己申告書にそれぞれ1つ以上記入。）	
学習指導	<p>●「はむらの授業指針」に基づいた「分かる、楽しい、学ぶ喜びのある」授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階に合わせた指導（一人一人が分かる、楽しい、できた喜びを感じる、工夫のある授業） ・毎時間の「授業の流れ」の視覚化、ノート指導の充実、年間指導計画・単元配当表を活用した確実な実施 ・「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」を活用できる言語活動の工夫、充実で言語能力を向上 <p>●一人一台端末・ICT を効果的に活用した授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入・展開・まとめ等で、ICT (AI) 等を効果的に活用し、個別最適な学び・協働的な学びを充実させる。（AI のメリット・デメリットを教員が理解し、児童にも理解させた上で指導し活用する。） <p>●児童が見通しをもち、目標に向かって最後まで諦めず粘り強く取り組み、振り返りを通して、自分の力をのばせる授業：【挑戦】自己調整学習を取り入れ、指導の個別化、児童の自己調整力を高める。など</p> <p>●「はむらの道徳科授業指針」に基づいた道徳授業の実践、道徳教育の充実（親切、思いやり）を図り、自他を大切にす心の教育を推進する。</p> <p>○朝読書や、読書活動の充実、新聞や学校図書館を活用した情報活用能力の育成</p> <p>○「やればできる。のびている。役に立っている。」と児童が実感できる指導</p> <p>○ICT を活用したドリル学習、家庭学習（宿題：学年×10～15分）の充実、計算タイムの活用、学力調査等の結果を生かした指導を行い、「やればできる」と感じる、個に応じた指導の充実や基礎学力の定着。</p>
生活指導	<p>●生活規律の定着、望ましい習慣の形成ができるよう、家庭との連携を図りながら、指導を徹底する。</p> <p>●元気な挨拶、返事、気持ちのよい言葉遣い、礼儀正しい行動ができる児童の育成、人権教育を推進する。</p> <p>●課題等を見付け自分事として捉え主体的に行動する児童、自らすすんで働く、協働できる児童を育成する。</p> <p>●いじめ防止対策（状況報告・アンケート・授業や講話・SC 面接等）や不登校対策（居場所・絆づくり、関係機関との連携、欠席児童への対応）を行い、児童に寄り添った指導を行う。</p> <p>●特別支援教育の充実。児童の長所・強み、良さを伸ばす指導。特別支援学級との指導連携・交流を図る。</p> <p>●環境のUD化（ユニバーサルデザイン化）を図り、だれもが分かりやすい、取り組みやすい環境づくり。</p> <p>○「心理的安全性」を感じる学級風土を醸成する。○安全に過ごすために指導（登下校、校舎内外など）</p> <p>○毎日笑顔で元気に登校できる児童を育成する。</p> <p>○校内委員会、生活指導終礼、いじめ対策委員会での情報共有と組織的な対応、多面的な児童理解を生かした指導、関係諸機関との積極的な連携と活用。○外遊びの奨励、体力・運動能力向上の取組</p> <p>○環境整備、美化、清掃活動、当番活動に主体的に取り組む児童の育成（認め、ほめ、主体性を育成する）</p>
学校運営	<p>●学年団での運営強化（交換授業による教科担任制・専科の副担任制）を実施し、授業力等の向上、負担感の軽減を図る。</p> <p>●教職員のライフ・ワークバランス推進のため、校務の効率化（校務DX、教育DX、ICTの効果的な活用の推進）を図る。→児童と向き合う時間、教材研究等の時間を確保する。</p> <p>●チーム栄として、担当主任や主幹が中心となって、組織的な運営を行う。</p> <p>○計画的な「プレミアム休暇」を各学期1日以上取得、毎週水曜日を定時退勤日とし、働き方改革を推進。</p> <p>○OJTの推進 ○校内研究の推進</p>
特活他	<p>●豊かな体験と学びの充実を図る。（縦割り班活動、英語教育、キャリア教育の推進、羽村学、人間学等）</p> <p>●栄小ランドデザインを活用し、小学校6年間で育てる見通しをもって児童の資質・能力を育成する。</p> <p>●6年間の系統性を把握し、特別活動や総合的な学習の時間等の学びを充実させ、ESDを推進する。</p> <p>○コミュニティ・スクール委員や、保護者・地域との連携</p> <p>○日常の教育活動の中で、健康教育・食育、安全教育を適宜行い、児童の実践力を高める。</p> <p>○地域ボランティアの活用 ○学級通信、ホームページでの情報発信等</p>
能力開発	<p>●校内研、OJT、市教研、校外での研修会に主体的に参加・全員への還元（情報の共有等）</p> <p>○ICT 機器、PC、AI 等の使用技術の向上等（教職員全員が ICT を文房具、AI を道具として使用）</p> <p>○東京都教職員研修センター主催の専門性向上研修への参加と研修内容の還元等</p>